

シャイン 074号

産業カウンセラーは 合格後からが本番

中村 恭子さん

会社名：千葉県内某市役所

役職：生活支援相談員

資格等：産業カウンセラー、社会福祉士

国家資格キャリアコンサルタント、秘書技能検定1級
サービス接遇実務1級、ビジネス文書技能検定1級
ビジネス実務マナー1級



【受講のきっかけ】

私は2014年に産業カウンセラー養成講座を受講しました。すでにキャリアコンサルタントの資格を取得していたのですが、労働法やメンタルヘルス等の知識も備えなかったことで、王道としての当資格を目指そうと考えました。

【資格取得後の活動状況】

無事に産業カウンセラー資格を取得しましたが、周りに当資格を持っている人も多く、心強い思いがありました。当資格は「合格して終わり」ではなく、「合格後からが本番」であると私は考えています。

現在、同じ資格を持つ仲間と3か月に1度程度の大きな勉強会を開催しています。コロナ禍の影響でリアルでの開催は限定的ですが、多くの人にご参加いただいています。内容としては、「LGBT」に関して当事者の方にゲストスピーカーとして実際に講話いただいたり、「依存症の心理」について専門家を招聘して講義いただきました。勉強会の告知や募集、会場や会費の設定等についても、産業カウンセラーの仲間達と相談しながら、毎回楽しく熱心に取り組んでいます。

また「傾聴ボランティア」にも参加し、高齢者施設に訪問させていただいたこともありました。そこでは、高齢者の方々は様々な思いで入所や通所をしており、

心を開いてくださらない方もいるということが、私にとっては大変勉強になりました。今後も積極的に参加したいと思います。

仕事の上では、社会福祉士として専門職に就いていますが、産業カウンセラー養成講座で身に付けた傾聴スキルを基盤に、精神障害者、依存症、生活困窮者、高齢者、DV被害者など、多様な方々の相談業務を行っています。なお、オンラインでの相談は現在行っていません。本当の相談はオンラインでできるものではないと痛感しているからです。

また当協会東関東支部で開催している「カフェふらっと」にも時々参加しています。産業カウンセラー同士で近況報告や職業紹介をするとともに仲間づくりの機会にもなります。オンライン開催のメリットは遠方の人も参加できることで、ファシリテーターの方が上手に進行してくださるので、あっという間に時間が経ってしまいます。

今後も自分自身がさらに切磋琢磨し、多くの人の支援につながるように勉強していく所存です。当資格を持っていて本当に良かったと思います。